



教育目標 高い志と思いやりの心をもつ、たくましい生徒の育成  
 目指す生徒像 ①高い志をもち、本気で学ぶ生徒 ②思いやりのある生徒 ③心身ともにたくましい生徒

師走に入り、寒さも本格的になってまいりました。12月1日(火)には、県西教育事務所の方々が来校され、授業や清掃の様子を参観しました。子供たちの頑張っている姿を見て「落ち着いた中で一生懸命取り組んでおり、大変素晴らしい」とお褒めの言葉をいただきました。

子供たちの活躍では、美術部3年生の杉浦朝陽さんが、全国小中学生宇宙の日作文絵画コンテスト絵画の部で「最優秀賞」を受賞しました。また、2年生の泉日和さんが、茨城県牛乳消費拡大事業ポスターコンクールで「県知事賞」を受賞しました。全国・県での受賞で大変素晴らしく感謝しています。おめでとうございます。

12月7日(月)には、弁護士の関健太郎先生を招くとともに、下館西中学校区の小学校の代表児童にも参加していただき「いじめ防止フォーラム」を実施する予定です。西中学校区のすべての児童・生徒が「思いやり」をもって「友達と仲良く・楽しく生活する」ことができるように、西中学校区から「いじめを根絶したい」と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

今年も残り1ヶ月弱となりました。有終の美が飾れるように、残りの1ヶ月を充実させてほしいと思います。特に、12月8日(火)には中間テストがあります。今までの「学習への取組」を振り返り、毎時間集中して授業に臨むとともに、今まで苦手だったところやできなかったところに積極的に取り組んでほしいと思います。さらに、西中の5つ行動目標である「時間」「あいさつ」「服装」「清掃」「言葉づかい」の徹底をめざし、けじめのある生活を心がけてほしいと思います。3年生は「私立高校の受験」があります。高い志をもちながら、今後の学習や学校生活を充実させ、さらに、自分の力や可能性を伸ばしてほしいと思います。

現在、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。引き続き、不要不急の外出や三密を避け、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防に心がけてください。

保護者・地域の皆様には、今年1年間、本校の様々な教育活動にご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。今後も、全教職員で力を合わせ「学校教育目標」の具現化、及び「信頼される学校づくり」等のために努力していく所存です。引き続き、保護者・地域の皆様の温かなご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 12月の行事

- 3日(木) 実力テスト(3年生)
- 4日(金) 新入生説明会・B日課
- 7日(月) いじめ防止フォーラム
- 8日(火) 中間テスト
- 11日(金) 福祉体験学習(1年生)
- 21日(月) 実力テスト(3年生)
- 24日(木) 第2学期終業式

## 1月の行事

- 8日(金) 第3学期始業式  
避難訓練
- 12日(火) まとめのテスト(3年生)
- 20日(水) ~27日(水) 三者面談・  
二者面談・B日課5時間
- 22日(金) C日課・英語検定
- 28日(木) 実力テスト(3年生)

12月7日(月) 学校支援ボランティア  
1月8日(金) あいさつ運動

☆12月の完全下校時刻 16:50  
☆1月の完全下校時刻 17:00

生徒のストレス等の不安や悩み等  
 に関し、相談窓口〔24時間子供SOS  
 ダイヤル(0120-0-78310)〕が  
 ありますのでご活用ください。また、学  
 校でも相談に応じますので、心配事等  
 がありましたら、学校代表(0296-  
 28-0404)までご連絡ください。

## = 生徒会役員頑張ります! =

後期生徒会立会演説会及び選挙が行われ、2年生6名、1年生4名の生徒会役員が決まりました。

放送による立会演説会では、立候補者それぞれが自分の熱い思いを伝え、どの候補者もこれからの西中を任せられると感じました。10名の皆さんには、これからの西中をさらに良い学校へと発展させてほしいと思います。

### < 生徒会役員 >

会長	小篠 久都さん(2年)	
副会長	飯野 杜奈さん(2年)	小林 優華さん(2年)
書記	泉 日和さん(2年)	山口穂乃香さん(2年)
会計	國府田 蓮音さん(2年)	直井 響煌さん(1年)
役員	古宇田 陽生さん(1年)	若本 絃汰さん(1年)
	梅山 颯馬さん(1年)	

## = 遠足を終えて = (栃木県那須方面 3年生)

11月2日(月)は3年生の那須方面への遠足でした。

茶臼岳登山では、足場の悪い中、みんなで声をかけ合いながら楽しく登ることができました。頂上に着いたときは、疲れた中でも充実感がわいてきました。那須ハイランドパークでは、小雨が降る中でしたが、グループでアトラクションに乗ったり、昼食をとったりと仲間との絆を深めました。とてもいい思い出に残る遠足となりました。

## 三者面談お世話になりました。

11月14日より行われました三者面談では、お忙しい中、学校に足を運んでいただきましてありがとうございました。3年生は、進路に関わる重要な面談でしたが、それぞれが今後の進路を考えるよい機会になりました。また、1,2年生におきましても、家庭での生活の様子を教えていただいたり、学校生活について気になっていることなど多数のご意見をいただいたりと、有意義な面談となりました。いただいたご意見を元に今後の学校運営に生かしていけるよう努力していきたいと思っております。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 小学校 あいさつボランティア

11月9日(月)は早朝から、1,2年生の代表者による出身校あいさつ運動(川島小学校・五所小学校・伊讃小学校)が行われました。

今回は、人数を制限しての取組でしたが、西中生の元気なあいさつによって、月曜日の朝を気持ちよく迎えることができました。

## = 県駅伝大会 タスキを繋ぎ立派な走り =

11月11日(水)に笠松運動公園において第34回茨城県中学校駅伝競走大会が行われました。8名の女子生徒が参加しました。最終順位は58校中35位でした。県西地区内では3番目の記録で、県西地区大会で西中より上位であった学校を3校上回る成績となりました。

西中PRIDEを見事発揮してくれました。応援ありがとうございました。

## = 絵画コンテストで 最優秀賞を受賞しました =

美術部では、今年度、制作時間の確保が難しい中、集中して作品づくりに取り組み今回2つのコンクールで最優秀賞を受賞しました。

・茨城県牛乳消費拡大事業 ポスターコンクール 最優秀賞 県知事賞 2学年 泉 日和さん

・「宇宙の日」記念行事 全国小・中学生作文絵画コンテスト 絵画の部・中学生部門 最優秀賞 3学年 杉浦 朝陽さん



## = シトラスリボン プロジェクト =

シトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛県の有志が作ったプロジェクトです。愛媛特有の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身に付け、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は地域と家庭と職場(学校)です。

現在、県内でも感染が拡大しており、下館西中学校でも、1つ生徒、保護者や家族が感染するか分からない状況です。感染した人が学校に戻って来やすい雰囲気作り、コロナ感染者を批判しない学校作りをしていきたいと考えています。

クラスメイトが感染したら、部活動の仲間が感染したら、西中の先生が感染したら、自分が感染したら…どんなメッセージや言葉をかけたいか(かけてほしいか)、どんなことを言ってもらおうと不安が解消するか…を各自考えながらメッセージカードに記入しました。



11月27日に行われた小中連携会議で代表生徒が発表した生徒作文です。

## 「前期を振り返って」

1年 飯島 愛珠さん

4月、私達は下館西中学校に入学しました。笑顔で迎えた入学式でしたが、その翌日からは、新型コロナウイルスによる長い休校。現在も「新しい生活様式」という特別な制限がありますが、みんなで協力して、楽しく学校生活を送ることができています。

振り返ると、あっという間に終わった前期でしたが、学習面と部活動面に力を入れて取り組むことができました。学習面では、その日のうちにしっかりと復習をするようにしました。また、中間テストや期末テストに備え、ノート作りを工夫しています。授業で先生が書いたものの他に、言ったことや自分の思ったことも書き込むようにし、オリジナルノートを作るようになりました。しつこく授業を受け、自分で考える習慣が付き、より深く理解できるようになりました。部活動面では、卓球部に入学し、基本的なフォームや動き方、ラケットを持つ手の角度など、細かく丁寧に指導していただきました。限られた時間を生かすため、いつでも試合を意識して練習に取り組んでいます。これからも仲間とお互いに励まし合い、時にはよきライバルとして競いながら、先輩方のように強くなっていくよう努力していきます。

後期も毎日が充実し、あっという間です。今は一年生の私達も、4月には新1年生が入学し先輩になります。私達を優しく迎えてくださった先輩方のように、後輩に優しい心配りができるようにになりたいです。日々の努力の積み重ねを大切に、これからもみんなとともに成長していきたいと思えます。

## 「セカンドステージ レベルアップ」

2年 杉田 佑月さん

いつもと違った春の訪れ。ほんの数人しかいない教室。4月6日新しい仲間と初の出会いは、とてもさびしいものでした。

今年は新型コロナウイルスの影響で午前・午後の分散登校を経て、6月8日にはじめて全員が教室にそろいました。私は学級委員長になりましたが、コロナの影響でスタートするのが遅かったこともあり、学級の新しいメンバーの中で活動できるか不安でした。最初は、教室の電気を早めに消すなど、時間の意識を高める雰囲気作りを心掛けていましたが、呼びかけをすることができませんでした。しかし、勇気を出して呼びかけをし、それを聞いた周りの友達が協力して呼びかけてくれたので、学級全体で時間を見て行動することができました。

私が所属している管弦楽部では、8月のTBSコンクール、10月の演奏会などの行事が中止になってしまいました。今までお世話になってきた3年生と皆の前で演奏する機会が減り、三密を避けるため、離れて個人練習することが多くなりました。当たり前でない日常の中で、全員で音を奏でることの難しさを感じる一方、皆で一つの曲を創り上げることの素晴らしさやありがたさを実感しました。

後期に入り、私は来年の受験の準備期間として今までよりも勉強に力を入れていきたいと考えています。前期は計画的に課題をおわらせることができましたが、学習内容がかたよっていたので、今は毎日の自学ノートの内容などをしっかり考えて取り組んでいます。

そして、3年生が先頭に立って引っ張ってくださったこの西中をの伝統を引き継ぎ、2年生全体が西中の柱として活躍していけるよう、よりレベルアップしてセカンドステージを充実させていきたいです。

## 「前期を振り返って」

3年 和久 美月さん

3月から、新型コロナウイルスの影響で、私たちは学校に行くことができなくなりました。休校中は、あと1ヶ月、クラスメイトと楽しく過ごしたかったと思ったり、いつまで休みが続くのだろう、中学生として最後の行事はできるのだろうか、と考えたりと、とても不安な毎日でした。

4月、5月は分散での登校でしたが、6月に入ってからは、全員で学校生活を送れるようになりました。今までとは違う形でしたが、学校行事も実施することができました。私は、それぞれの行事ができることに感謝しながら、準備や本番の演技に一生懸命取り組みました。特に印象に残っていることは輝夢祭です。合唱コンクールで、私たちのクラスは、「友～旅立ちの時～」を歌いました。私は伴奏者として、曲を盛り上げられるように、精いっぱい演奏しました。その結果、クラスで銀賞、そして私も最優秀伴奏者賞を取ることができました。本番で、今まで練習してきた事を発揮できたので、とても嬉しかったです。さらに最優秀伴奏者賞は3年連続でいただくことができ、嬉しかったです。

また合唱コンクールの他にも、インタラクティブフォーラムの発表や管弦楽部の発表、クラス発表を準備から本番まですべて楽しんで行うことができました。

私は前期の学校生活、行事を通して、いつも通り、楽しく学校で生活できることが、どれだけ嬉しいことかを実感することができました。これからは、受験生として、絆が深まったみんなと支え合いながら、学習をさらに頑張っていきたいです。